

指揮者 伊藤 久美子

自主訓練から大会までの約8ヶ月。モグモグタイムを入れながら、週2回の訓練に取り組んできました。指揮者に指名され、初めは大声をだすことに恥ずかしさがありましたが、対面する仲間の表情に、次第に声量も増してきました。10月に入ってから、何故か言葉に詰まることが増え不安もありましたが、本番では囁むことなく、周りの歓声が気にならないほど集中して訓練の成果を発揮することができました。貴重な経験をさせていただけたのも、団員、指導者、署員、団OBの方々の温かいサポートと見守りがあったからです！本当にありがとうございました。式部さくらからもいろいろな所で咲かせましょう！きれいな花を!!

2番員 宝泉 のり子

はじめに、訓練中はたくさんのご指導・ご支援をいただき心から感謝いたします。操法独特の動作は戸惑いが多く、特にホースの扱いには最後まで苦戦しました。延長・運搬・結合全てにおいて問題の連続でした。そんな時、色々な方が策を練ってくれたことがありがたく嬉しかったです。「放水はじめ」動作の時短研究では団員皆で盛り上がりました。本番は大都会東京の空気と他県団の質の高さに感激。緊張なくあっという間に終了。結果は残せませんでしたが、二度とない経験を共にした仲間が宝となりました。今後この団結力で活動に努めます。

4番員 鎌谷 祐三子

入団した年に団の事もあまり知らないまま操法大会に出場することになり、訓練が始まりました。選手とサポートが一体となり毎回の訓練を乗り越えてきました。訓練の後半ではサポートの方々がたくさん声を出していただいた事がとても力になりました。操法大会に出場するか決める時の分団会議で『訓練していく中で団結が生まれる』と聞いていましたが本当にそうだと実感しました。大会では、緊張しましたが全力で臨めたと思います。無事に大会を終えた事、この機会をいただいた事、感謝しています。ありがとうございました。

補助員 高柳 明美

大会に参加します！と手を挙げました。補助は大変だと、訓練をすればする程、身体が悲鳴をあげました。不安でしたが、寒い頃から、猛暑も仲間たちと共に乗り越えることができました。大会当日は秋晴れのもと、とても清々しく、関わった皆さんを思いながら、感謝と感動で心が震えました。私の人生に記録と記憶が刻まれたのです。年齢的にこれが最後…私にとって、貴重な体験になりました。ぜひ皆さんもチャレンジしてください。

第25回全国女性消防操法大会

大会を終えて

式部さくら分団



1番員 谷川 智恵

東京の大会会場では、操法後に涙を流したり、抱き合ったりしている他のチームもたくさんいて、こんなアツい場所に連れて来てもらったことがとても嬉しかったです。そんな大会で、緊張の中でも、自信を持って、集中して、そして楽しむことができました。式部さくら分団のメンバーに加え、他分団の団員、消防署員の方々など、多くのお手伝いやアドバイス、応援のおかげです。この場を借りて皆様に感謝申し上げます。そして、選手のみなさん、ありがとうございました！一緒にがんばった日々は私の宝物です！

3番員 酒井 昭代

応援してくださった方、サポートしてくれた団員、指導してくださった福田・堀両指導員、お世話になりました。はじめにお話を頂いた時、時間が取れるか、操法の所作についていけるか、不安でした。とりあえず、前向きに行こうと始めましたが、負けず嫌いが出はじめ、もっと真剣にやらないと、という思いになっていきました。寒さにふるえ、汗だくになりながらも、訓練ではたくさん悩み、緊張し、必死になり、青春していたなあと思います。結果は悔しかったですが、無事やり通すことができよかったです。お世話になった方々、ありがとうございました。

No.60 式部さくら分団全国大会特集

越前市 消防団

ECHIZEN-SHI SYOUBOU-DAN

発行 越前市消防団

編集 活性化推進委員会広報部

全国女性消防操法大会出場 式部さくら分団 初参加で敢闘賞!!

式部さくら分団

分団長 河村尚恵

式部さくら分団発足から8年で、初めて全国女性消防操法大会という大舞台で東京へ。

去年末、初めて高橋団長から操法大会出場の話があった時には、只々ビックリで言葉に詰まってしまい、「分団会議で意見を聞く場を作って欲しい」と頼みました。

3月から規律訓練が始まり大会までの道のりは大変でしたが、大会は無事に故障者もなく見事な結果を残せたと思っております。その節には、心温まる激励、お志等を頂き誠にありがとうございました。そして、御指導頂いた福田・堀両指導員、関係者の皆様、ホントにありがとうございました。



あこがれの大会で操法を披露する式部さくら分団の選手

本大会に向け、式部さくら分団では出場選手と同分団員で構成するサポート隊が一丸となり、3月より週2回の自主訓練、7月からは本訓練を開始しました。大会が10月に行われることから、長期の訓練となりましたが、選手、サポート隊の皆様は、お仕事ご家庭を持たれており大変だったと思います。大会当日は良い天気にも恵まれ、全国から44チームの女性消防隊があつまり、式部

令和5年10月21日(土)東京臨海広域防災公園において、第25回全国女性消防操法大会が開催され、福井県代表として越前市消防団式部さくら分団が出場し、初出場ながら、敢闘賞を受賞しました。

この大会を通して式部さくら分団の皆様は、貴重な経験や技術を得られたことと思います。今後も越前市消防団の活性化にお力添えをいただきたいと思います。最後に式部さくら分団の益々のご活躍を期待しております。お疲れさまでした。

石川 副団長

さくら分団も日々訓練した成果を十分発揮し、素晴らしいポンプ操法を展開しました。操法後は選手の方々、やりきった表情をされていました。



操法後、疲れを知らない選手と応援隊との記念撮影

